

会 議 記 録

会議名称	第3回社会教育委員の会議
日 時	令和元年9月25日(水) 午前10時03分～午後0時08分
場 所	分庁舎4階 会議室
出席者	委員／山口、石田、朝枝、南、檜枝、赤池、天野、内山、笹井 区側／生涯学習推進課長、社会教育推進担当係長(社会教育主事)、 教育連携担当係長(社会教育センター社会教育主事)、管理係主査、管 理係主任、社会教育センター主査
配付資料	<p><配付資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度第2回社会教育委員の会議 会議記録(案) 2 杉並第四小学校の跡地活用に関するサウンディング型市場調査の実施について 3 令和元年度「小学生名寄自然体験交流事業」の実施について 4 開館30周年記念特別展「陽明文庫名品展 豫楽院近衛家瀨の風雅」 <p><参考資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度小学生名寄自然体験交流事業報告書(※) 2 杉並区の図書館－図書館要覧－令和元年度版(平成30年度実績) (※) 3 子どもの遊び場、一緒につくろう! 「すぎなみフェスタ2019」参加メンバー募集! 4 第69回杉並区総合文化祭 5 野鳥 杉並が生んだ図鑑画家の眼 杉並で見つめつづける写真家の眼 6 「実践的リカレント」雑誌「社会教育」より(赤池委員資料) (※) =委員のみの配付
会議次第	<p>・開会</p> <p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議録の確認について 2 杉並第四小学校の跡地活用に関するサウンディング型市場調査の実施について 3 第8回小学生名寄自然体験交流事業について 4 開館30周年記念特別展「陽明文庫名品展 豫楽院近衛家瀨の風雅」について <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 検討課題について <ol style="list-style-type: none"> (1) 各委員の課題認識について (2) 「学びのまち・杉並」のこれからと社会教育について

	2 次回について 3 その他 ・閉会
--	--------------------------

(意見要旨)	
○副議長	時間になったのではじめたい。議長が到着するまで進行を代理する。
○副議長	杉並第四小学校の跡地活用に関するサウンディング型市場調査の実施について。
○生涯学習推進課長	<p>今般、民間事業者による整備・運営の実現可能性を確認するとともに、事業者選定における公募条件の整理を行う観点から「サウンディング型市場調査」を実施した。参加事業者は9団体で、結果の公表は今月末を予定しており、現在準備に入っている。</p> <p>今回の調査で確認できたことは、「次世代型科学教育の新たな拠点」「多目的に利用できる場」、それに「学習活動園」という、いわゆるビオトープの三つの機能について、同一事業者で一体的に活用することにより採算性を確保することが可能で、結果としてサービスの相乗効果を図ることができるということから、定期借家契約による事業方式が可能であること。2点目は、グラウンドについて活用のアイデアは幾つか出されたものの、高円寺学園の補完機能などにより使える時間の制約がかなりあり、その中で採算性を確保するのは困難だということ。3点目は、区民が利用しやすい利用料金の設定、サービスの質の確保を考えた場合、民間事業者の経費負担、賃借料を廉価にしたり、初期投資にかかる負担の軽減を図ったりするなどの検討が必要ということである。</p> <p>今後は、今説明した内容を踏まえ、計画の具体化を図るとともに、民間事業者による整備・運営に向けた公募条件の検討を進めていく。来年には公募要項をお示しし、運営事業者の選定に入り、その後、設計や改修を順に進め、開設は令和5年度の中ごろを予定している。</p> <p>今の段階で何かが決定したということではないが、いただいた意見を参考に、まずは整備方針を固めていくことと公募の要項を定めていき、具体化していくという手順になっている。</p>
○副議長	どうもありがとうございました。何かあれば。
○委員	<p>報告なので、議論する場ではないと思うが、3「サウンディング型市場調査で確認できたこと」の1番目のところが肝になると思うので、回答は不要だが読ませていただいた印象を述べる。確認できたこととして「一体的に活用することで採算性を確保するとともに、サービスの相乗効果が図られる」とある。後ろに付いている資料から採算性が向上することはよくわかるが、三つの機能に相乗効果が図られるからこの形式を良いとする証拠を、少なくとも私が読んだ範囲では読み取ることができなかった。その点が納得できないと思い印象を述べさせていただいた。</p>
○副議長	続いて、「第8回小学生名寄自然体験交流事業について」を。
○生涯学習推進課長	区内在住の小学校5・6年生25名を名寄市に派遣し、名寄の

冬の厳しい自然や名寄の児童との交流を通して、自然の雄大さや大切さ、地元の文化や産業の違い、児童の探求心、豊かな人間性を育むことを目的に実施しているものである。11月8日から事前学習会を始め、毎年12月26日から28日までの3日間現地に行く。その後、学習成果発表会を行うところまでで完結となっている事業である。

応募状況としては、25名募集のところ68名の応募である。例年は100名ぐらいの応募をいただくのだが今回は若干少なめである。帰ってきた後の日程が私立中学受験などと重なるところがあることも要因ではないかと分析しており、今後は日程の調整を検討する必要があるかと思っている。そういうことも反映してか68名の応募のうち、6年生が19名、5年生が49名と5年生が圧倒的に多い。また、区内在住のお子さんが対象であるので、国立、私立小学校のお子さんの応募も5名あった。この事業は次世代育成基金を活用しており、防寒着などはそれぞれに用意していただくが、旅費等の負担はない。

○副議長 昨年度の報告書を見ると、すごく子どもたちが感動しているようで、すばらしいなと思った。では、議長がお見えになったので、ここから先の進行をお願いします。

○議長 遅れて、申し訳ありません。では、開館30周年記念特別展「陽明文庫名宝展」について、事務局から。

○生涯学習推進課長 郷土博物館は平成元年度に開館しており、今年はちょうど30周年である。そこで、10月26日から12月1日まで、30周年記念特別展として「陽明文庫名品展 豫楽院近衛家瀨の風雅」を展示する。

近衛家瀨とは近衛家の第21代の当主である。陽明文庫とは、第29代近衛文麿が、近衛家の名品を広く公の調査・研究に役立てようと京都仁和寺の近くに設立した資料館である。その陽明文庫と杉並区は荻外荘が縁で覚書を結んでおり、荻外荘の復原に係る調査を年に5回ほど行っている。そこで開館30周年に合わせて京都から資料をお借りすることになった。

今回展示する近衛家ゆかりの茶杓筆筒は、国宝、重要文化財には指定されていないものの、陽明文庫展の際には展示されることが多い資料である。ただ、中に入っている茶杓31点を全点一遍に見られる機会は今回が初めてである。その中には、後西天皇がつくった茶杓のほか、千利休や小堀遠州、古田織部、福島正則という秀吉に仕えた武将のつくった茶杓も納められている。

この近衛家瀨は、茶道以外にも植物画や書、あと香道など幅広くさまざまな文化に精通していたので、それらもあわせて展示をする。ぜひ一人でも多くの方にいらしていただきたい。

○議長 それでは、報告事項に続いて協議事項に移らせていただく。

1番目の検討課題として、前回からの続きで「各委員の課題認識について」である。まだお話しをされていない委員に、さっそくお願いしたいと思う。

※5名の委員から、課題にかかる内容で自己紹介を兼ねた発言があった。

○議長 ありがとうございます。これで今期メンバーを一巡したので終えたいと思う。では、次に「学びのまち・杉並」のこれからと社会教育についての説明を。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） これからの社会教育について議論していくとき、これまでお話をいただいた中からも皆様方の立ち位置がさまざま

で、ある事象に対して取り組んだ結果としてご自身が感じたり考えたりしたこと、あるいは将来像に対しての意見もあるということが出てきているところだと思う。全体を俯瞰するときに、そのきっかけを手がかりにしたら、はたしてここでどんな議論ができるのかどうかという作業を次回からしていきたいと思う。

事務局としては、こうした皆様からの発案を受け、区行政、教育委員会としての課題などもあるので、そこに問題提起や投げかけをさせていただきつつ、クロスしたところを中心にして議論するようなことを今後の会議の場でお願ひしたいと思っている。

○議 長 最後に課長からご挨拶をいただきたい。
(生涯学習推進課長 挨拶)

○議 長 今日はありがとうございました。